

第1回 鳴門市地域福祉講演会

平成28年8月6日13時30分～15時45分

於 うずしお会館 第1会議室

講師 公益財団法人 さわやか福祉財団 戦略アドバイザー
土屋幸己認定社会福祉士

①はじめに

みなさん、こんにちは

ただいまご紹介いただきました、公益財団法人 さわやか福祉財団の土屋幸己と申します。

今日はお時間をいただきまして、「地域で最後まで住み続けるために」～これからの地域福祉について～ このテーマでお話をさせていただきたいと思います。

簡単に今自己紹介をしていただいたんですが、公益財団法人 さわやか福祉財団というところなんですけども、こちらの財団は今から25年ほど前に会長 堀田力と言いますが、ちょうど先週、3日くらいロッキード事件のドキュメンタリーをNHKで放送していたと思いますが、その時、検事で最前線を務めていた一人なんですけども、57歳の時に検事を退任いたしまして、これからの日本は地域での支え合い、助け合い、居場所とかです、ね、こういったものが重要となってくるであろうという事でそのような活動を推進するために立ち上げた財団です。

財団の職員はもちろんいるんですけども、全国に百数十名を超すさわやかインストラクターと呼ばれるそれぞれの都道府県で助け合いとか支え合い活動を推進していただけるボランティアのインストラクターの方が居まして、全国的に活動を展開しているところでもあります。本日もインストラクターの1人、酒井さんがおみえていただいているんですけども、そのような活動を展開しています。

で、今回ですね、今日はあまり深く触れませんが、2回目の時に少し深く触れようと思いましたが、介護保険制度の改正が行われて、介護保険のサービス、今までは全国一律に介護保険の事業所がデイサービスとかヘルパーとかを提供していましたが、その中に、制度の中に住民主体やボランティアの人たちが提供する居場所とか、生活支援サービス、そういうのが介護保険のサービスに組み込まれてきました。という事は、介護保険のサービスの担い手というのが住民やボランティアのみなさまに広げられたという事なんです、ね。

そこを長年支援してきましたので、全国の介護保険制度の改正に伴う、市、町や住民の皆

さまの支援そういったことに今、全国で活動をしているというところであります。